

板橋区立中台小学校 令和6年度 学校経営方針

校長 神保 幸次郎

I 方針の重点

1 教育課題への対応

(人権・多様性の尊重、健康教育の充実、生命の安全教育、不登校対策など)

2 子どもの主体性を生かした教育活動と基礎的な学力の定着

3 地域の活動へつなげる教育活動の実施と地域人材の活用

4 一人一台端末のさらなる活用と活用上のルールメイキング

I-1 教育課題への対応

「板橋区教育ビジョン2025」及び「いたばし学び支援プラン2025」

(1) 幼保小接続・小中一貫教育の推進

- ・学区内保育園・幼稚園との情報提供及び年長園児を呼んでの交流
- ・さくら草学びのエリア(中台小、若木小、中台中)及び交流エリア(中台小、上三中)による協働、教員研修会、中学校教員または生徒による講話、特別支援学級同士の交流

(2) 板橋区コミュニティ・スクールの推進

- ・コミュニティ・スクール委員会による教職員・保護者・地域の方との熟議
- ・コミュニティ・スクール等の学校評価の評議により学校運営を改善

(3) 誰一人取り残さないための居場所づくり

- ・不登校対策の推進(早期発見、早期介入、つながりの維持、居場所の確保)
- ・個別指導計画、生活支援シート、校内支援委員会を活用した特別な支援を要する児童への支援に関する構内体制の充実
- ・国外にルーツのある児童、ヤングケアラーなど支援
- ・配慮が必要な児童及び保護者への多様な支援と他機関連携への積極的な働きかけと連携

I-1-1 (1) 人権教育の推進(多様性の尊重)

<理念> 「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」

<方針> 共生社会の実現に向け、教育活動全体と通じて、児童・教職員共にあらゆる偏見や差別を無くし、互いの多様性を尊重し、自他の良さを生かす。

<具体> ・12月の人権週間に、朝会で校長及び担任から講話を実施
・各学年、教科の協同学習を2回以上実施
・人権に関わる問題が生じた時には即時対応及び指導

I-1-1 (2) 健康教育・体力向上の推進

<基本> 感染症防止を含めた健康教育及び生活が豊かになる体力向上の取組を進める。

<方針> 基本的な感染予防と新たな健康課題に対応した保健指導・保健教育の継続と共に、自己の体力の課題に応じて自ら課題を設定し、仲間と共に楽しむ「学校2020レガシー」の取組を展開する。

<具体> ・担任による保健指導、衛生検査の実施(ハンカチ、ちり紙、爪)
・担任と養護教諭が連携した健康観察と個別の保健指導
・校医を活用した歯磨き指導、ネット依存防止教室
・年度の初め、長期休業前における「早寝、早起き、朝ご飯」の指導

I-1-(3) 生命の安全教育の実施

- ＜基本＞ 性暴力の加害・被害・傍観者にならない正しい認識や行動を養う。
- ＜方針＞ 性暴力が及ぼす影響などを理解した上で、生命を大切に考える考えや自他を尊重する態度を発達段階に応じて身につけさせる。
- ＜具体＞ ・土曜授業プランにおいて全学年「生命の安全教育」の授業を実施
・性教育を含め保護者・コミュニティ・スクール委員・教職員による熟議を実施

I-1-(4) 不登校防止対策及び不登校児童・保護者への支援

- ＜基本＞ 誰一人取り残さないための居場所や時間をつくる。
- ＜方針＞ 登校渋りの兆候が見られた時点で担任等から連絡を密に取る。
また、家庭での孤立感を生まないように定期的に働きかける。
- ＜具体＞ ・理由が不明確な欠席の場合は即時、家庭に電話をする。
・登校しぶりが3日以上続く場合は、面談や家庭訪問をする。
・家庭や医療・福祉の支援を要する場合は、積極的に他機関と連携を図る。

2-1-(1) 「板橋区授業スタンダード」の徹底による児童の主体的・対話的な学びの充実

- ＜基本＞ 「板橋区授業スタンダード」による授業づくり・授業革新
- ＜方針＞ 学習指導要領改訂の要点「何を学ぶか、どのように学ぶのか、何ができるようになるか」を踏まえながら「板橋区授業スタンダード」を教員が身につけ、それをベースに移動の主体性を生かした学びとなる授業革新を進める。
- ＜具体＞ ・多様な視点で子どもを捉える深い児童理解
・「板橋区授業スタンダード」を徹底した土曜授業プランの実施・公開（5月）
・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業展開と授業改善
・知識・技能に偏らない指導と評価の一体化による授業革新

2-1-(2) 基礎的な学力（計算・漢字・読み書き）の定着

- ＜基本＞ 主体的な学びのベースとなる計算・漢字・読み書き知識・技能の定着を図る。
- ＜方針＞ 学習指導要領改訂の要点「何を学ぶか、どのように学ぶのか、何ができるようになるか」を踏まえながら「板橋区授業スタンダード」を教員が身につけ、それをベースに移動の主体性を生かした学びとなる授業革新を進める。
- ＜具体＞ ・担任による学習状況、定着度の把握の徹底
・朝学習及び家庭学習における反復的な学習の実施
・定着度の定期的な評価と改善の実施（4月、6月、9月、11月、1月）
・学力向上専門員を活用した個別の学習支援の徹底
・「できる・解けた」喜びと学習意欲を育む、放課後学習教室の実施

3-1 地域の活動へつながる教育活動の実施

- ＜基本＞ 地域に開かれた教育課程、地域へ発信する OUTPUT の活動を推進する。
- ＜方針＞ 学習活動の成果を地域へ発信したり、地域の方々を招いて発表したりするとともに、児童の活動意欲が地域で発言できるよう、地域活動を積極的にクロームブック等で発信する。
- ＜具体＞ ・各学年1回以上、地域に発信する取組を実施
・地域センター、図書館、科学館、商店街等と連携して INPUT と OUTPUT の活動を展開
・地域や商店街の催しに保護者の協力を得ながら児童有志が参加

3-2 地域人材の活用と人材育成、教職員の働き甲斐の向上

- ・地域人材やボランティアの積極的な活用により教師が担うべき職務へ専念
- ・職員室内の良好なコミュニケーション風土を大切にし、OJTを活性化
- ・ライフ・ワーク・バランスの推進
- ・定時退勤日の設定

4 一人一台端末のさらなる活用と活用上のルールメイキング

- ・良い実践を共有及び個別最適な学びの試み
- ・チャット機能を活用した望ましいデジタルコミュニケーション能力の形成
- ・ネット・ゲーム依存の防止を踏まえたルール作りと端末等の適正な管理

II 目標

1 さくら草学びのエリア 小中一貫教育（中台小学校・若木小学校・中台中学校）

(1) 教育目標

「未来を担う人に必要とされる資質・能力の育成」

(2) 学びのエリアのめざす子ども像

「未来を切り拓き、たくましく生き抜く子」

(3) 身に着けさせたい力

- ・自分で考え、責任をもって行動する力
- ・協働して、主体的に課題解決に取り組む力
- ・失敗を恐れずチャレンジする力

2 中台小学校の教育

(1) 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、国際的視野に立つ日本人として深く自己を見つめ、他をやさしく思いやれるような知・徳・体の調和のとれた個性豊かな児童の育成を目指し、児童が成就感や自己肯定感をもてる創造的な学校教育を推進する。

○明るく心豊かな子・・・自他の良さを認め合うとともに自然を大切にし、明るく思いやりのある豊かな心をもった児童を育てる。

◎深く考える子・・・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、課題解決のためによく考え、主体的に探求していく児童を育てる。

○ねばり強く行う子・・・目標に向かってねばり強く、困難があっても乗り越えて、やり通す児童を育てる。

○じょうぶな体の子・・・望ましい生活習慣を身に付け、安全に気を付けて積極的に運動や活動に取り組む児童を育てる。

(2) 教育目標を達成するための基本方針

○「明るく心豊かな子」に関する取組

ア 子どもの心を耕す取組

- ・「特別の教科道徳」の時間を要として道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成
- ・「ふれあい月間」（6月・11月・2月）を契機にした「いじめ防止教育」の推進
- ・特別支援学級と通常学級の交流・共同学習の推進（授業、学校行事など）
- ・異年齢交流活動の充実（委員会・クラブ活動、縦割り班活動など）

イ 大人が範を示すための取組

- ・人権教育、いじめ問題及び服務事故防止研修等、教職員の研修の着実な実施
- ・道徳授業地区公開講座における道徳性の熟議

- ◎「深く考える子」に関する取組（基礎的・基本的な知識・技能の獲得、学力の向上）
 - ・「板橋区授業スタンダード」「中台小授業スタンダード」の徹底
授業の導入で学習の目標（めあて・ねらい）を明確に示し、授業の終わりに子ども自身に学んだことを振り返らせる指導を徹底
 - ・教員個々の課題意識に基づく授業改善を図るために校内研究を実施
課題を明確にした研究授業を全員実施し見合い、協議により授業改革を加速
 - ・充実した I. T. O. (Input, Think, Output)のある学習指導の展開
児童の Output を重視し、言語等による表現・発表の機会を設定
Output のための Input と Think and Talk（対話的な学習）を適切に設定
 - ・「絵本のまち」板橋として、通学区域内にある中央図書館の積極的な活用
「読書週間」の設定などによる読書活動の推進
児童図書委員会への指導と充実（「おすすめの本」カードの作成、放送による読書推進）
地域図書館との連携（一括貸し出し、ブックトークなどのレクチャー等）
読み聞かせボランティアを活用した学級文庫の整備
 - ・個の実態、発達の段階及び習熟の状況に応じた目標設定と指導の充実
（個別の指導計画に基づいた指導の充実）

○「ねばり強く行う子」に関する取組

- ・独自のキャリア・パスポート「なりたい自分カード」の活用等
毎学期、記入により、なりたい自分になるために自己を見つめ返す活動を展開
- ・間違えや失敗を糧にしたりポジティブに捉えたりする指導・支援により再挑戦を喚起
一方で個の実態や発達の段階に応じて失敗を回避して成功体験を多く積ませる

○「じょうぶな体の子」に関する取組

ア 健康、食育、衛生に関する取組

- ・感染防止の衛生習慣を獲得するための保健指導
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」、「歯磨き指導」の推進
- ・保健の授業を中心とした健康教育、薬物乱用防止教育の実施

イ 安全に関する取組

- ・避難訓練、防災教育、生命の安全教育を実施
- ・防災安全、交通安全、防犯安全、ネット安全などを各学年で実施

ウ 体力向上に関する取組

- ・「学びに向かう力」を起点にした体力向上の取組を授業体育、業間体育で展開
- ・持久走チャレンジ、短縄・長縄 week など焦点的な活動を設定
- ・東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果を生かした健康教育
- ・「学校 2020 レガシー」、都「子どもを笑顔にするプロジェクト」を融合させた子どもたちの心に残る教育活動を実施

3 その他の取組

(1) 生活指導に関する取組

- ・学校生活及び学習活動の基本を示した「中台小よい子のきまり」「中台小スクールガイド」の周知と徹底
- ・生活目標、週目標を設定した指導と朝会、朝学活、帰りの学活におけるフィードバック
- ・規範意識の育成や社会生活上のルールを守る態度の育成
- ・「ハイパーQU」の調査結果を生かした自尊感情・自己肯定感の育成（5・6年生）

- ・特別支援学級(知的)設置校、特別支援教室(情緒)拠点校の強みを生かした深い児童理解を図る校内支援会議の活用
- ・特別支援教室巡回指導教員と担任の連携により通常学級における個別の支援・配慮を充実

(2) 教育課題に関する取組

- ・ESD、STEAM、NIE(新聞を活用した教育)、GIGA(プログラミング教育)などを教科等の学習の中に取り入れ、それぞれに求められる資質・能力を育成
- ・新たな不登校ゼロと不登校状態の解消に向けた居場所づくり、つながりづくり、家庭以外で過ごせる場の情報提供
- ・生命の安全教育の全学年実施
- ・「なりたい自分カード」等を活用したキャリア教育の推進(再掲)
- ・「ふれあい月間」(6月・11月・2月)を契機にしたいじめ防止教育の推進(再掲)
- ・学習成果を地域へ Output し、その学習過程で探究的な学びを推進する総合的な学習の時間の展開
- ・「板橋 学級活動の日」を設定し、全学年で自治的で問題解決型の対話的な学級会を実施

(3) 校務改善(働き甲斐改革)

- ・5W1Hが明確な教育計画の企画・実施・改善
- ・教員の専門性の発揮(地域人材、学習支援ボランティアの活用)
- ・お便りやアンケートの電子化によりペーパーレス化による時間の捻出
- ・捻出した時間を子ども・授業の話題として職員室で交流

(4) 教員のキャリアに応じた研修・自己啓発・OJTの推進

- ・各教員が、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を参考に自己のキャリアや職層、職務に応じて求められる資質・能力を主体的に向上することができるよう、自己申告・授業観察・面談を通じてキャリアプラン、キャリアパスの具現化を図る。
- ・校内研究に積極的に参画するコミュニケーション風土を醸成する。
- ・校外における研修(Off-JT)の参加・受講を推奨する。